

## 竹富島伝統的集落の景観保全

【応募者】 氏名：竹富島まちなみ保存調整委員会／  
連絡先：TEL(0980)85-2202 FAX(0980)85-2424 Email: ue24sedo@song.ocn.ne.jp

## 【応募理由】

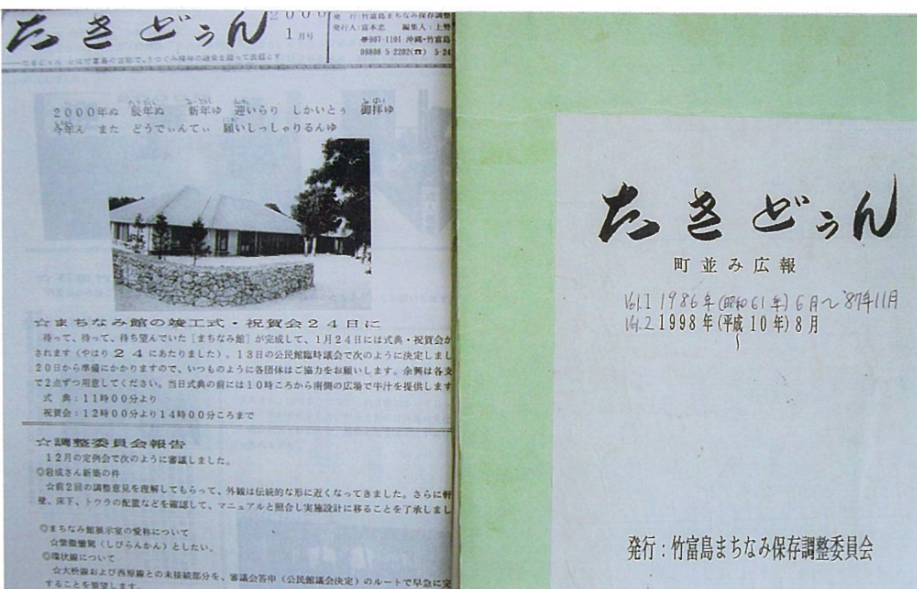
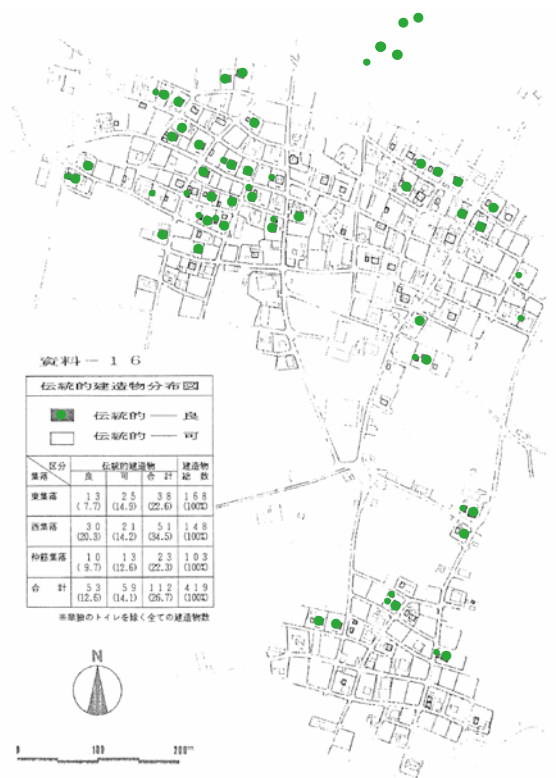
伝統的集落景観の保存運動を進めてきたおかげで、今では沖縄県で唯一の絶対的観光資源となった。観光客の増加がUターン・Iターンの増加を促し、人口は15年連続で増加している。島が緩やかに活性化して、住民が穏やかに住み続けるシステムが維持されている。

## 【作品または活動の概要】～街なみ環境整備事業や建築協定等

1972年復帰頃より、赤瓦の家並み・サンゴ石灰岩の石垣・白い砂の道など、沖縄の伝統的景観や自然を守る運動を続けてきた。1987年に重要伝統的建造物群保存地区選定とともに、3集落から4人ずつの委員、計12人によって調整委員会を構成している。毎月24日に定例会を持って、新築・修理・修景等の図面審査・現地調査を行い、昨年は72件を審査・調整した。審査に当たっては伝統的な建物の平均値を産出した、建築協定ともいえるマニュアルを作成している。マニュアルの想定外の件に関しては教育委員会、審議会と官民協力してシマづくりを行っている。

## 【作品または活動の特色】～伝統的建造物保存、伝統文化継承

伝統的建造物保存のために地場産材（古材）の集積、植林を行っている。伝統家屋の新築や修理が増えたことで、大工・屋根葺き職人の後継者が出来た。気候風土に根ざした家屋での生活は安心・安全で環境共生そのもの。そんな集落で芸能・染織などの伝統文化を継承している。



委員会発足以来、毎月一回広報紙「たきどぅん」を発行して全家庭に配布している。



選定記念に全国から286人と全住民が参加して3日間の町並みゼミを開催した。



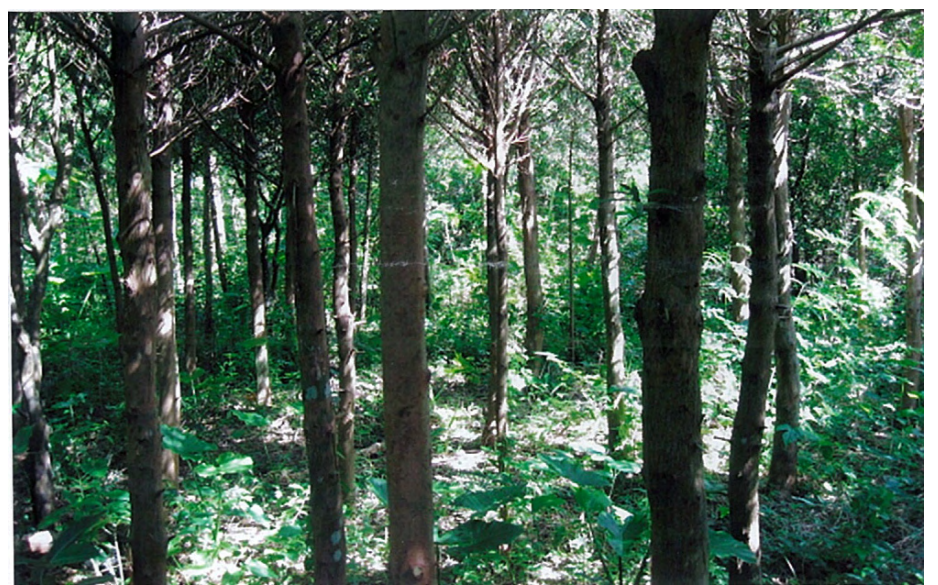
青年会の協力で茅場造成を行った。



1997年、選定10周年記念に茅葺き家を復元した。



伝統的資材（古材）の集積を行っている。一方、榎の木を植林している。



（古材の集積を行う一方、榎の木を植林している。）